

道路行政マネジメントで使用している17の指標

政策テーマ	指標	H14実績	H16実績	H17見込	H18目標	H19目標	
渋滞を減らす ～道路交通の円滑化と地球温暖化対策～	① 道路渋滞による損失時間	38.1億人時間/年 (H14比3%削減)	36.9億人時間/年 (H14比5%削減)	36.2億人時間/年 (H14比8%削減)	35.1億人時間/年 (H14比8%削減)	約1割削減	
	② 路上工事時間	201時間/km・年	143時間/km・年 (H14比28%削減)	142時間/km・年 (H14比29%削減)	140時間/km・年 (H14比3割削減)	H18の水準 (140時間/km・年) を維持	
	③ ETC利用率	全国	5%	H17春 47%	H18春 70%	H18春の水準(70%)より 更なる向上を図る	
		首都高速	6%	H17春 53%	H18春 85%	H18春の水準(85%)より 更なる向上を図る	
		阪神高速	3%	H17春 39%	H18春 85%		
	④ 踏切遮断による損失時間	—	136.6万人・時間/日	H21までに 130.0万人・時間/日	・速効対策により約1,300箇所を今後5年で対策 ・抜本対策により約1,400箇所の対策を2倍に スピードアップ		
	⑤ CO ₂ 排出削減量	262百万t-CO ₂ /年	運輸部門におけるCO ₂ 排出量を H22までにH15時点より 8百万t-CO ₂ /年削減 〔H24までに、主要渋滞ポイント約1,800箇所を解消 ・H24までに、ボトルネック踏切等約540箇所を解消 等〕				
環境を改善する ～沿道環境の保全～	⑥ NO ₂ 環境目標達成率(濃度値)	—	69% (0.056ppm)	81% (H16より改善)	85% (前年より改善)	約9割	
	SPM環境目標達成率(濃度値)	—	100% (0.067mg/m ₃)	H16の水準(100%)を維持(前年より改善)			
	⑦ 夜間騒音要請限度達成率	61%	67%	68%	70%	72%	
交通事故を減らす ～安全・安心な道づくり～	⑧ 道路交通における死傷事故率	118件/億台キロ	120件/億台キロ (暫定値)	112件/億台キロ	110件/億台キロ	108件/億台キロ (約1割削減)	
	⑨ 1日当たりの平均利用者数が5,000人以上の旅客施設の周辺等の主な道路のバリアフリー化の割合	17%	31%	35%	42%	約5割	
地域を結ぶ ～物流機能の向上と地域間の連携～	⑩ 規格の高い道路を使う割合	13%	13% (H15より 約370万台±0/日 転換)	14%	14% (H17より 約750万台±0/日 転換)	15%	
	⑪ 拠点的な空港・港湾への道路アクセス率	59%	61%	66%	67%	68%	
災害等に備える ～防災と維持管理～	橋梁の耐震補強実施率 (緊急輸送道路の橋梁)	—	5割	H19までに概ね完了			
	(新幹線をまたぐ橋梁)	—	3割				
	(高速道路をまたぐ橋梁)	—	8割				
	⑫ 災害時に広域的な救援ルートが確保されている都市の割合	66%	69%	72%	74%	76%	
	橋梁の予防保全率	—	88%	91%	96%	概ね100%	
	⑬	道路構造物保全率	橋梁 86%	86%	88%	91%	93%
舗装		91%	94%	H14の水準(91%)を維持			
地域の魅力を向上する ～観光立国の実現～	⑭ 市街地の幹線道路の無電柱化率	7%	10%	11%	13%	15%	
道路行政の改革 ～アカウンタビリティの向上～	⑮ 道路利用者満足度	2.6点	2.67点	2.85点	2.93点	3.0点	
	⑯ ホームページアクセス数	1,546万アクセス/年	4,416万アクセス/年	6,200万アクセス/年	8,100万アクセス/年	約1億アクセス/年	
	⑰ 道路事業の総合コスト削減率	—	6.6% 縮減 (H14比:暫定値)	9% 縮減 (H14比)	12% 縮減 (H14比)	15% 縮減 (H14比)	

※平成16年度達成度報告書・平成17年度業績計画書の政策テーマにより分類

(ゴシック体の指標は、社会資本整備重点計画に位置付けられており、また、斜体の指標は、報告書・計画書公表後に設定した指標)